



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 名

上場会社名 太陽化学株式会社

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,593	5.1	701	55.9	754	68.6	454	73.1
23年3月期第1四半期	8,179	△6.3	450	4.5	447	△19.3	262	△22.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 541百万円 (63.9%) 23年3月期第1四半期 330百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	23.12	—
23年3月期第1四半期	13.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	33,814	27,392	79.3
23年3月期	33,443	27,128	79.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 26,810百万円 23年3月期 26,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,500	△2.3	900	△2.0	950	13.0	500	9.9	25.44
通期	33,000	△2.0	1,800	△13.0	1,900	△3.7	1,050	6.5	53.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	23,513,701 株	23年3月期	23,513,701 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,858,643 株	23年3月期	3,858,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	19,655,058 株	23年3月期1Q	19,941,659 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) その他の注記事項	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の甚大な被害により、一部回復の兆しが見えていた企業活動は大きな影響を受け、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましても震災の影響は大きく、一時的な買いだめによる市場の混乱、買い控えや更なる低価格化志向、更には原発事故による放射性物質の一部汚染に伴う風評被害拡大等の形で表面化し、国際市場では一時的ではあるものの日本製の輸入禁止など食品業界を取り巻く環境は厳しい状況が続きました。

このような経済環境の中で当社グループは、引き続き、対処すべき課題として、①市場変化への対応、②販売の強化（グローバル化）、③品質管理体制の維持・強化、④環境への取り組み、⑤人材育成、⑥業務改善による全体最適化を掲げ、企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は東日本大震災の影響による夏季の計画停電を見越した作りだめの需要増加もあり、85億93百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。営業利益は7億1百万円（前年同四半期比55.9%増）、経常利益は7億54百万円（前年同四半期比68.6%増）、四半期純利益は4億54百万円（前年同四半期比73.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

① ニュートリション事業

水溶性食物繊維は、国内市場及び米国市場での医療食品用途が好調に推移するとともに、韓国などのアジア市場で乳製品への新規採用などもあり、好調な動きとなりました。

緑茶抽出物は、国内市場は堅調に推移いたしましたが、欧米市場でのサプリメント用途が低調な動きとなりました。

テアニン（機能性アミノ酸）は、国内市場の飲料用途は低調に推移いたしましたが、米国市場のサプリメント用途が堅調な動きとなりました。

ミネラル製剤は国内市場における乳製品用途を中心に好調に推移し、P U F A（多価不飽和脂肪酸）・ビタミン製剤も美容・健康飲料用途への採用等があり好調な動きとなりました。

この結果、売上高は11億95百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は97百万円（前年同四半期比82.0%増）となりました。

② インターフェイスソリューション事業

乳化剤は、化粧品・トイレタリー用乳化剤が堅調な動きとなった他、一般食品用の乳化剤や乳化・可溶化製剤、樹脂用等の非食品用途の乳化剤も好調な動きとなり、全体的に好調に推移いたしました。

飲料用素材のなかで、乳化食品は低調な動きとなりましたが、乳化安定剤は堅調な動きとなりました。

安定剤は、計画停電の影響もあり冷菓用途及び惣菜用途は堅調な動きとなりましたが、飲料用途及び医療食用途が伸び悩み、やや低調に推移いたしました。

この結果、売上高は30億7百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は4億36百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

③ アグリフード事業

鶏卵加工品は、粉末卵が堅調な動きを示すとともに、液卵加工品が東日本大震災による影響もあり好調な動きとなりました。

即席食品用素材は、新製品への採用や東日本大震災後の一時的な需要の増加により好調な動きとなりました。

フルーツ加工品は、製パン用途が好調な動きとなりましたが、ヨーグルト用途は計画停電の影響で低調な動きとなりました。

クレープ製品（薄焼き卵）は、冷菓用途に新規採用となり、好調な動きとなりました。

この結果、売上高は43億70百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は1億64百万円（前年同四半期は38百万円の営業損失）となりました。

④ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は19百万円（前年同四半期比17.5%減）、営業利益は3百万円（前年同四半期比31.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して3億71百万円増加して、338億14百万円となりました。主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加5億21百万円、有形固定資産の増加2億35百万円、現金及び預金の減少4億82百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億22百万円です。

負債は前連結会計年度末に比較して1億7百万円増加して64億22百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加2億59百万円、未払法人税等の減少1億25百万円、賞与引当金の減少1億25百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して2億63百万円増加して273億92百万円となりました。これは主に、当四半期純利益4億54百万円の計上、及び配当金支払2億35百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の79.4%から79.3%となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,316,194	2,833,907
受取手形及び売掛金	8,214,718	8,736,173
商品及び製品	2,922,794	3,013,449
仕掛品	401,305	373,466
原材料及び貯蔵品	1,892,005	1,769,985
その他	643,158	803,184
貸倒引当金	△66,882	△77,746
流動資産合計	17,323,294	17,452,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,049,274	5,031,071
土地	5,936,545	6,022,476
その他（純額）	2,852,548	3,020,361
有形固定資産合計	13,838,367	14,073,909
無形固定資産		
のれん	126,394	122,330
その他	333,136	334,630
無形固定資産合計	459,530	456,961
投資その他の資産		
投資有価証券	1,479,567	1,490,827
その他	383,289	380,777
貸倒引当金	△40,666	△40,366
投資その他の資産合計	1,822,190	1,831,239
固定資産合計	16,120,088	16,362,109
資産合計	33,443,382	33,814,530

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,555,024	3,814,789
短期借入金	185,816	192,380
未払法人税等	447,592	322,501
賞与引当金	230,104	104,792
その他	836,070	917,033
流動負債合計	5,254,608	5,351,497
固定負債		
長期借入金	37,444	34,090
退職給付引当金	543,843	552,874
役員退職慰労引当金	297,590	297,590
その他	181,244	186,158
固定負債合計	1,060,122	1,070,713
負債合計	6,314,730	6,422,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,704	7,918,704
利益剰余金	14,608,010	14,826,637
自己株式	△3,486,738	△3,486,738
株主資本合計	26,770,598	26,989,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,365	12,645
繰延ヘッジ損益	6,499	13,738
為替換算調整勘定	△252,867	△205,483
その他の包括利益累計額合計	△212,002	△179,099
少数株主持分	570,055	582,193
純資産合計	27,128,651	27,392,319
負債純資産合計	33,443,382	33,814,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
売上高	8,179,855	8,593,326
売上原価	6,332,841	6,538,448
売上総利益	1,847,013	2,054,878
販売費及び一般管理費	1,396,948	1,353,337
営業利益	450,064	701,540
営業外収益		
受取利息	2,491	2,243
受取配当金	15,821	15,815
持分法による投資利益	6,763	20,022
為替差益	—	7,030
助成金収入	43,661	12,848
その他	20,507	12,998
営業外収益合計	89,245	70,959
営業外費用		
支払利息	15,213	10,832
貸与資産減価償却費	5,433	5,067
為替差損	61,182	—
その他	10,212	2,418
営業外費用合計	92,042	18,319
経常利益	447,268	754,180
特別利益		
投資有価証券売却益	154	—
特別利益合計	154	—
特別損失		
固定資産除売却損	9,530	1,268
投資有価証券評価損	61	—
特別損失合計	9,591	1,268
税金等調整前四半期純利益	437,831	752,911
法人税等	127,369	264,618
少数株主損益調整前四半期純利益	310,461	488,292
少数株主利益	47,863	33,779
四半期純利益	262,597	454,513

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	310,461	488,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49,699	△20,909
繰延ヘッジ損益	△9,111	△6,483
為替換算調整勘定	64,885	67,729
持分法適用会社に対する持分相当額	13,814	12,911
その他の包括利益合計	19,888	53,248
四半期包括利益	330,350	541,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,368	487,416
少数株主に係る四半期包括利益	79,981	54,125

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,089,634	3,034,201	4,031,838	8,155,674	24,181	8,179,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,089,634	3,034,201	4,031,838	8,155,674	24,181	8,179,855
セグメント利益又は 損失(△)	53,307	429,890	△38,968	444,229	5,835	450,064

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュートリシ ョン事業	インターフェ イスソリュー ション事業	アグリフー ド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,195,220	3,007,509	4,370,649	8,573,379	19,947	8,593,326
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,195,220	3,007,509	4,370,649	8,573,379	19,947	8,593,326
セグメント利益	97,045	436,047	164,459	697,552	3,988	701,540

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。